

松翠深く蒼浪遙けき逗子より

泉鏡花

青空文庫

さくらやま なつうぐひすね
 櫻 山に夏 鶯 音を入れつゝ、 岩殿寺の青葉に目白鳴く。

なつかしや御堂の松 翠 愈々深く、 鳴鶴ヶ崎の浪蒼くして、

新 宿の濱、羅の雪を敷く。そよよくと風の渡る處、日盛りも

蛙の聲高らかなり。夕涼みには脚の赤き蟹も出で、目の光る鮓

も顯る。撫子はまだ早し。山百合は香を留めつ。月見草は露

ながら多くは別荘に圍はれたり。野の花は少けれど、よし蘆

垣の垣間見を咎むるものなきが嬉し。

田越の蘆間の星の空、池田の里の小雨の螢、いづれも名所に

數へなん。魚は小鯔最も佳し、野郎の口よりをかしいが、南瓜

の味拔群也。近頃土地の名物に浪子饅頭と云ふものあり。

此處こゝの中ちうがく學がくあたりの若わか殿との輩ぼらに、をかしき其そのわけ知しらせぬが可よ
かるべし、と思おもふこそ尚なほをかしかしけれ。

大正四年七月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十八」岩波書店

1942（昭和17）11月30日第1刷発行

1988（昭和63）12月2日第3刷発行

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。

入力：門田裕志

校正：米田進

2002年4月24日作成

2003年5月18日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

松翠深く蒼浪遙けき逗子より

泉鏡花

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>